vinetur

Champagner.comが刷新、仏シャンパーニュ地方の2,706銘柄を紹介する多言語ガイドに

52のメゾン、629の栽培農家、1815年以降の全ヴィンテージを紹介。刷新したサイトにソムリエ向けツールも追加

2026年11月17日（火）



シャンパーニュ専門の独立系ウェブサイトChampagner.comは、Karl Schnürchの運営のもと16年ぶりに全面刷新を完了した。生産者やボトル、フランスのシャンパーニュ地方そのものについて情報を求めるワイン愛好家、コレクター、業界関係者にとって、参照情報源としての役割を広げる。

刷新したサイトは、ドイツ語、フランス語、英語、スペイン語、日本語で利用できる。多言語展開により、幅広いワインのディレクトリーの一部ではなく、シャンパーニュに特化してきたプラットフォームの国際化をさらに進める。

リニューアルに関する発表によると、サイトにはシャンパーニュのメゾン52軒と栽培農家629軒の

プロフィールが掲載されている。各プロフィールには住所と地図が含まれ、編集記事や参考資料と並ぶディレクトリーとして利用できる。また、データベースには2,706銘柄のシャンパーニュが収録され、生産者情報にボトル単位の情報が加わった。

新バージョンでは、学習に役立つ機能も拡充した。シャンパーニュ地方の用語270項目と地名256カ所を収録した用語集を備え、生産に関する用語や地域の地理、ラベルやテイスティングノートに登場する名称を理解する手助けとなる。また、1815年以降のすべてのヴィンテージを網羅しており、ワイン界で特に注目される地域の長期的な歴史をたどることができるとしている。

新たに加わった機能の一つが、サイトに蓄積された情報をもとに質問に答えるソムリエ機能だ。発表では技術的な詳細は明らかにされていないが、検索や閲覧だけでなく、直接質問することで、カタログや用語集、歴史データを活用できる機能として紹介されている。

刷新したプラットフォームでは、個々のボトルについて理解を深めたい購入者や愛好家に役立つ実用情報も重視している。各メゾンのページでは、デゴルジュマン日とボトルコードの読み方を案内する。この2つの情報は、生産時期の特定やトレーサビリティの確認に役立つ。リリース時期やデゴルジュマン後の熟成がスタイルや価値に影響するシャンパーニュでは、こうした情報は一般の購入者にも経験豊富な愛好家にも重要となる。

生産者とボトルのデータベースに加え、サイトではシャンパーニュ地方のニュースや、祭り、見本市、セラーの一般公開などを網羅したカレンダーも掲載する。これにより、従来は情報参照を中心としていたプラットフォームにイベント機能が加わり、地域の生産者やワインを訪問、試飲、一般向けの催しにつなげる。

刷新したサイトには、読者投稿のテイスティングノートと、公開済みのテイスティングの要約も掲載されている。ディレクトリーやアーカイブとしての機能に加えて、利用者が参加できる場を設けつつ、メゾン、栽培農家、ヴィンテージ、ボトルに関する体系的な情報を中心に据えている。